

【侍ジャパン U18 壮行試合 高校日本代表対大学日本代表 観戦記】

8月27日 QVCマリンフィールドで「侍ジャパン U18 壮行試合 高校日本代表対大学日本代表」の試合がおこなわれました。高校日本代表チームの主将は、磯辺シャークス出身の木更津総合高校 小池航貴君が努めました。

この試合 毎日新聞社様のご好意で「稲荷スターズ」の皆様が観戦していただきました。その感想を書いていただきました。



〔壮行試合を観戦 伊藤 煌鋭〕

ぼくは、夏休みに高校野球をテレビでみていました。千葉県の代表の木更津総合高校は、早川投手を中心に守備がかたく、ベスト4まですすみました。ほかの高校の選手たちも とてもがんばっていました。夏の甲子園で活やくした選手たちの代表がマリンスター

ジウムで、見ることができるとした時は、とてもうれしかったです。最初に高校代表は、5点とられてしまったが、2回いこうは、おたがいにゆずらず最後までいきました。走塁も一人一人が全力で塁間かとてもみじかく感じました。ファーストのカバーもセカンドとライトが全力で行っていました。次を予想してうごいているのがよくわかりました。バッテングは、大学生のうまい配球でなかなかうちくずすことができなかつたようです。大学生もすごかったですが、している人が多い高校代表にかつてほしかつたです。今回の試合で学んだことは、一球一球に反応することです。それから一場面一場面で声をかけあうことです。ぼくは、集中するときやくに声をだせなくなるので、すこしずつ自分をかえていきたいと思ひました。

〔壮行試合観せんについて感想 岡村 青空〕

ぼくは、高校代表メンバーをおうえんしていました。とくにピッチャーの早川選手をおうえんしました。ですが 初回に5点とられ、交代してしまいましたが、リリーフがしっかり0点におさえました。大学代表は、ヒットをたくさん打ち、点をいっぱいとりました。高校代表は、ヒットを5本くらいしか打てなく 勝てませんでした。ぼくは大学代表を相手によくヒットを打てたなど とてもかんしんしました。小池選手も試合に出ている、ヒットを打ち、活やくしていました。ピッチャーは、今井投手 高校生なのに151キロを出してスタンドをおどろかせました。もう一度この試合を見に行きたいです。この試合を見て、とても勉強になりました。さすが大学生！ さすが高校生！ というプレーがたくさん見られて、とても楽しかったです。このけいけんをいかして、ぼくも、練習や試合をがんばりたいと思いました。

【壮行試合観戦 伊藤瑛汰】

ぼくは、学生野球を真近で見るのは初めてだったので、選手たちがどんなプレーをするか、とてもわくわくしていました。試合の中で一番すごいと思ったことは、8回・9回に投げた高校日本代表の今井投手のストレートです。140キロの後半から150キロの前半だったので、高校生なのに150キロを投げられることに、おどろきました。二番目にすごいと思ったことは、大学日本代表の大西選手の足の速さです。平凡なセカンドゴロを内野安打にしていたので、大学日本代表の勝利にとっても貢献していたと思う。三番目にすごいと思ったことは、高校日本代表の藤平投手です。変化球もストレートも安定していて、大学日本代表の選手も手がでなかったもので、さすが高校BIG3の一人と思いました。高校

日本代表も、大学日本代表も、とても良いプレーをしていたので、ぼくもいっぱい練習して侍ジャパンに入れるよう努力していきたいです。また この機会があったらぜひ見に行きたいです。

【壮行試合観戦 秋田 敢太】

ぼくは、侍ジャパンの壮行試合を見て感じたことが二つあります。一つ目は、両投手の投げ合いについてです。一回の表の早川投手は、一人目は打ち捕りましたが、ファールとヒットがからみ、五点もとられてしまいました。一方大学のピッチャーは、ファールはほとんどなく、安定したピッチングをしていました。大学と高校では、三しんの数やファールの数がちがうことがわかりました。二つ目は、大学との力の差について

です。ピッチャーはもちろんバッターとしても大学の方が上でした。一回の表の初めてのヒットは、二番バッターの大西選手です。セカンドゴロかと思われた打球を全速力で走り切り、内野安打にしました。次のバッターも次々とヒットを打ち打線がつながり五点をとったのだと思います。大学生が負けていけないというプライドもあったのだと思います。ぼくは、侍ジャパンの壮行試合を見て 大学選手は 負けられない 高校の選手は あきらめない という強い気持ちがあることがわかりました。ぼくも強い気持ちを持ちたいです。観戦に行ってよかったです。

【壮行試合観戦 中村 嶺央】

ぼくは、高校野球千葉県予選の準決勝を見に行きました。この時、8月に夢のような試合があることを知り「絶対見たい」と心待ちにしていました。壮行試合を見てぼくはこうなりたい・ここをまねしてみたいと思ったことがあります。それは九鬼選手の二塁送球です。ぼくはチームでキャッチャーをやっています。そこで九鬼選手の低いたいせいからの送球におどろきました。もう一つあります。それは大学野球の全力ダッシュです。サードゴロ・セカンドゴロでも絶対セーフになるという気持ちが伝わりました。そしてまねをしたいと思うことは、応援です。大学・高校ともに楽器と声がそろっていて 見ていてとても気持ちよかったです。もう一つまねしたいのは試合前のノックです。試合前のノックを見ると、全員気合いはいついて「さすが日本代表」と思いました。ぼくも練習すべてにおい

て気合いを入れたと思います。この試合を通じてぼくはまねしたいことがいっぱい見
つかりました。すばらしい試合を見るきかいをくださりありがとうございました。